

雄花の観察によってシラカバ花粉の飛散数を予測する

近年、道内ではシラカバ花粉症患者が急増しています。シラカバ花粉症対策として医療機関などではカバノキ属樹木の花粉飛散数を調査しています。飛散数は年変動が非常に大きく、花粉症の効果的な予防や治療のためには飛散数の予測が欠かせません。本州のスギではより確実な飛散数予測のため気象データだけでなく、花粉飛散前の雄花の観察データが利用されています。そこで、スギで実施されている雄花観察による予測手法をカバノキ属樹木(シラカンバ、ウダイカンバ、ダケカンバ)でも確立するため、道立衛生研究所と共同で道内の主要都市においてカバノキ属樹木の雄花の着花状況と翌春の花粉飛散数との関係について調査を行ってきました。カンバノキ属樹木は4～6月に開花して花粉を飛散しますが、雄花は秋には肉眼で確認することができます(写真-1)。雄花の多さは枝先50cmの雄花序の数と着花率との積(着花指数)により評価しました。その結果、札幌、旭川、函館では各都市周辺で秋に着花指数を調査し、シラカンバ、ウダイカンバ、ダケカンバの着花指数の合計値により、翌春の飛散数が予測できることがわかりました(図1)。今後は開発した手法を活用し、シラカバ花粉予報の予測精度向上に役立てていきたいと思えます。

(林業経営部主任研究員)



写真-1 秋(左)と春(右)のシラカンバの雄花

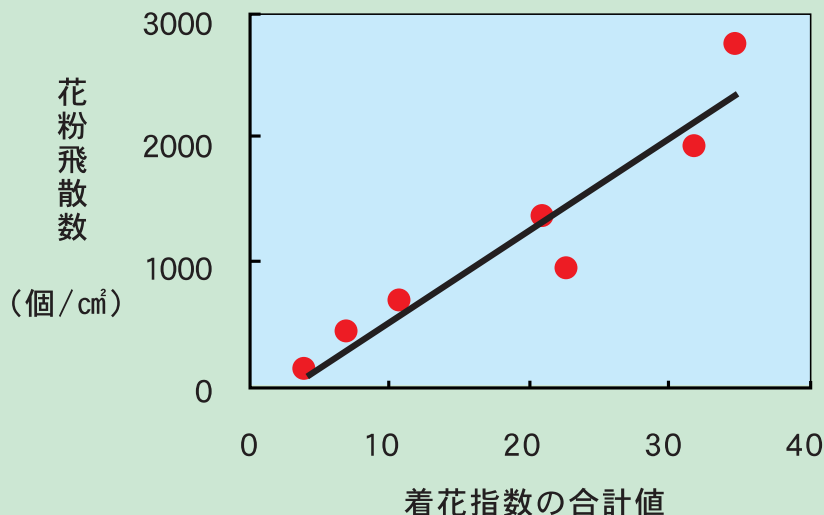


図-1 札幌市におけるカバノキ属樹木の着花指数の合計値と花粉飛散数との関係

林業試験場 本 場 TEL 0126-63-4164 FAX 0126-63-4166
道南支場 TEL 0138-47-1024 FAX 0138-47-1024
道東支場 TEL 0156-64-5434 FAX 0156-64-5434
道北支場 TEL 01656-7-2164 FAX 01656-7-2164
ホームページ <http://www.hfri.pref.hokkaido.jp/>

発行年月 平成21年1月
発行 北海道立林業試験場
〒079-0198 美幌市光珠内町東山